

活 用 事 例	大分市立大在中学校	望月陽一郎教諭
活用事例タイトル	拡げる（ひろげる）①・・・出前授業	
対象授業科目/活動	中学校→小学校（国語）・・・校内の先生の新しい取り組みです。	
授業または活動の概要（目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など）	<p>小中一貫教育連携の取り組みとして、中学校から小学校への出前授業を行いました。中学校には新しく導入された学習者用タブレット（指導者用を含めて学校に 10 台の導入）がありますが、小学校にはまだ導入されていません。</p> <p>そこで、中学校より iPad セット（・iPad ・AppleTV ・無線ルータ）を持って行き、6年生の授業で活用しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容をまとめたものを提示して想起させた。 ・keynote による資料提示（作者の人生について）を行った。 ・カメラによって、児童のイメージ図撮影・投影・記録を行った。 ・使用アプリ・・・keynote。カメラ。 	
評価、振り返り（活動の評判や児童・生徒の声など）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後の児童ワークシートから、「スライドや画像が参考になった」という感想が多く見られました。 ・視覚化して提示したことから、児童がイメージ図を考える場面で効果が見られた。 	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・可視化、即時化、記録化に役立った。特に記録できることは、後の授業で参考になる。 ・iPad セットにより、教材提示システムを簡単に持ち運ぶことができる。 	
その他 (関連 WEB サイト等ありましたらご記入ください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式の大型テレビを移動して準備するのが大変であった。小学校の各教室にも大型ディスプレイが常設してあると便利。 ・iPad 内で準備しなくてはならないのが大変である。(私物パソコンで作成したデータはコピーすることができない) 	